

賀 謹

明けましておめでとうございます。
年頭に当たり、市議会を代表して、市民の皆様にご挨拶を申し上げます。

旧年中は市議会活動に対し、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

新しい年も更なる市民福祉の向上と市政発展のため、市民に開かれた議会運営に努め、市議会議員一同一丸となつて議会としての責務を果たして参る所存であります。市民皆様の尚一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、北海道新幹線が開業、整備計画決定から43年、北海道から九州まで初めて新幹線がつながりました。また、熊本県ではM6.5の熊本地震が発生し、死者多数をはじめ、熊本城など多数の建築物



が倒壊する甚大な被害をもたらしました。災害復旧に向けては、本市職員も支援活動に参加協力しました。また、選挙権年齢を「18歳以上」に引き下げの改正公選法が施行されて、初めての国政選挙も行われました。1946年の衆院選以来、70年ぶりの改革となる今回の改正は、多くの若者の意見をより政治に反映できるものと期待しております。

県内では、第6回世界のウチナインチュウ大会が過去最多の七千名を超える海外からの参加者を得て開催され、うるま市でも第5回世界若者ウチナインチュウ大会グランドファイナルや、関連イベントとして「世界のうるまんちゅ交流レセプション」が海外から約400人、県内から約140人が参加し開催され、赤野青年会による伝統エイサーや泡盛古酒甕の仕込み式なども行われ、参加者は5年後の再会を誓いました。

そのような中、昨年、本市において米軍属の男性により、将来に夢を抱く若い女性の尊い命が奪われるという極めて残酷で凶悪な事件が発生しました。うるま市議会は、市民の人権、生命、財産を守る立場から、全会一致で

抗議決議を可決し、米国大統領をはじめ、各関係者に対し渾身の怒りを込めて厳重に抗議するとともに、ご遺族への謝罪等を要求しております。

本年は、より一層、市民の安心、安全の実現に努力すると共に、「市民が夢と希望を持てる、魅力あるうるま市」の実現に向けて、議員一同、全力で取り組んで参る所存であります。

さて、今年も、市民の皆様にとって待望の生涯学習・文化振興拠点施設が完成し、4月には共用開始の運びとなつており、多種多様な文化活動の支援に繋がるものと大いに期待しているところでございます。

市民の皆様におかれましては、本年も議会に対し、尚一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が市民皆様にとりまして、健康で素晴らしい一年でありますよう心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

うるま市議会 議長
おおや 大屋 せいぜん 政善